

授業概要

本講義では、生涯学習及び社会教育の本質と意義の理解を図り、教育に関する法律・自治体行財政・施策、学校教育・家庭教育等との関連、並びに社会教育施設、専門的職員の役割、学習活動への支援等の基本を学習する。講師から解説するだけではなく、生涯学習の方法論を体験しながら学習を行う。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	今なぜ生涯学習が必要なのか
第 3 回	教育の原理と社会教育
第 4 回	社会教育に関する法令と施策
第 5 回	社会教育行政の意義と役割
第 6 回	生涯学習の方法・形態
第 7 回	生涯学習関連施設への訪問（課外学習）
第 8 回	情報からの学習－図書館
第 9 回	「もの」からの学習－博物館
第 10 回	生涯学習施設－公民館
第 11 回	地域の人々の相互学習－NPO
第 12 回	学校教育との連携
第 13 回	情報技術と生涯学習
第 14 回	プログラム評価
第 15 回	生涯学習・社会教育指導者の役割
第 16 回	

到達目標

- ・生涯学習及び社会教育の本質と意義について理解する。
- ・自分の目指す領域の、生涯学習における位置づけを理解する。
- ・生涯学習の方法論を企画・実践することができる。

履修上の注意

- ・授業中は、講師からの説明だけでなく、受講者同士での話し合いや活動の機会を多く設ける。
- ・他の受講生とも協力しながら、主体的に授業に参加することを求める。
- ・授業内で、生涯学習に関する発表を行うことが単位習得の必要条件である。
- ・発表の内容や形式については、履修者の人数によって適宜調整を行う。

予習・復習

社会教育施設などの生涯学習関連施設に、一度は訪問・調査を行う時間外学習が必須である。

評価方法

授業内発表 50%、受講態度 50%

テキスト

- ・参考書名：新しい時代の生涯学習
- ・著者名：関口 礼子・西岡 正子・鈴木 志元・堀 薫夫・神部 純一・柳田 雅明
- ・出版社名：有斐閣
- ・出版年 (ISBN)：978-4-641-22106-2